

死 亡 證 明 書

陸・海・邦



裏面に職上の注意を見てください。(裏及び裏面の各欄は記載し及びません)

資 料 提 供 者	死 亡 者										
	遺留品の処	遺骨及び遺骸の処理	元(死亡事由(傷病名))	階(死亡場所)	亡(死亡日時)	死(死亡区分)	発病場所	発病時期	区 分	本 籍 地	開戦時の住所(在留地)
石川某に向い後退途中 戦死と確認する			受傷状況不詳	中尾本島 美里村 石川岳付近	20. 4. 5	戦死 ※			内 容	独歩	開戦時の住所 (在留地)
関係のと者亡死 月隊 月年兵			※ 甲	※ 甲	※ 乙	※ 甲	※	※		独歩	開戦時の住所 (在留地)
所属 部隊 職域 中隊小隊長			※ 甲	※ 甲	※ 乙	※ 甲	※	※		独歩	開戦時の住所 (在留地)
現住所 独歩ノメ大			※ 甲	※ 甲	※ 乙	※ 甲	※	※		独歩	開戦時の住所 (在留地)
職階氏名 中隊長			※ 甲	※ 甲	※ 乙	※ 甲	※	※		独歩	開戦時の住所 (在留地)
死亡当時の状況及び参考資料 四一、米軍上陸より一、三、三は20.4.2.夕一六、高 地山の上の中隊本部に集合(当々平人は兵)後夜間 大隊本部に合流するべく行動開始 20.4.3.夕、カ ネガン、部隊に到着(本行動員被害僅少)同 地に到着したころ前方より敵が進入し来るにより 三大本部都合流不能になり再び北方一、六、高、地 に後退開始。四日山中に一泊五日朝若間に集務 したころ米軍の集中攻撃を受け石川岳に向け後 退した。この際多数の戦死者とあり。本名は若間に 集務するが、米軍攻撃の際直後の後退中戦死 したことは間違いない。 石川某集務村四、名しかいりつた。											
守留者 姓名 純柄()											
種兵 種役 歩 現											
死亡時の階級(兼職名は又) 曹 長											
名 氏 年 月 日生											
女 男											

死亡現認(確認)証明書

◎裏面記載上の注意を見て書いて下さる。

※(調製月日) 昭和 年 月 日
 ※(調製官選)

資料提供者		死亡者の資料					現留守 住居當所者	木籍地	届有の無	
死亡通知の仕方		元 著 亡 死							部 属 所 有 通 有 団	
遺留品 遺骸の遺理 及遺骸の遺理 遺留品 遺骸の遺理	死亡区分 發病時 他病名 死亡場所 死亡日時	死亡区分 發病時 他病名 死亡場所 死亡日時	死亡区分 發病時 他病名 死亡場所 死亡日時	死亡区分 發病時 他病名 死亡場所 死亡日時	死亡区分 發病時 他病名 死亡場所 死亡日時	現留守 住居當所者	木籍地	部 属 所 有 通 有 団		
								部 属 所 有 通 有 団		
								部 属 所 有 通 有 団		
								部 属 所 有 通 有 団		
関係の人と木 同隊		現 兵 歩					現 兵 歩			
隊部属所 所住現		甲 甲 乙					現 兵 歩			
隊部属所 所住現 石三三九三部隊 中二中隊		(況 狀 の 考 へ ら れ ず せ ん 死)により戦死された様に見えるが、 亡当時は見かけの者か否かは 當さがすとして死んでるに過ぎない 現現況にありませぬ故右の通り 戦死されざる事を願う (況 狀 の 考 へ ら れ ず せ ん)					名 氏 (後)姓等官(期) 氏 氏 年 月 日生			
隊部属所 所住現 石三三九三部隊 中二中隊		昭和二十年四月一日一六〇高地より 石川岳へ向ふ途中五日頃より登山 死)により戦死された様に見えるが、 亡当時は見かけの者か否かは 當さがすとして死んでるに過ぎない 現現況にありませぬ故右の通り 戦死されざる事を願う (況 狀 の 考 へ ら れ ず せ ん)					名 氏 (後)姓等官(期) 氏 氏 年 月 日生			
隊部属所 所住現 石三三九三部隊 中二中隊		(況 狀 の 考 へ ら れ ず せ ん 死)により戦死された様に見えるが、 亡当時は見かけの者か否かは 當さがすとして死んでるに過ぎない 現現況にありませぬ故右の通り 戦死されざる事を願う (況 狀 の 考 へ ら れ ず せ ん)					名 氏 (後)姓等官(期) 氏 氏 年 月 日生			
隊部属所 所住現 石三三九三部隊 中二中隊		(況 狀 の 考 へ ら れ ず せ ん 死)により戦死された様に見えるが、 亡当時は見かけの者か否かは 當さがすとして死んでるに過ぎない 現現況にありませぬ故右の通り 戦死されざる事を願う (況 狀 の 考 へ ら れ ず せ ん)					名 氏 (後)姓等官(期) 氏 氏 年 月 日生			
隊部属所 所住現 石三三九三部隊 中二中隊		(況 狀 の 考 へ ら れ ず せ ん 死)により戦死された様に見えるが、 亡当時は見かけの者か否かは 當さがすとして死んでるに過ぎない 現現況にありませぬ故右の通り 戦死されざる事を願う (況 狀 の 考 へ ら れ ず せ ん)					名 氏 (後)姓等官(期) 氏 氏 年 月 日生			

控

警 察 部 警 務 課 監 査 課

昭和二十年四月十日

遺留品の処 理	遺骨及び遺 骸の処理	元 因 (遺病名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分	死 病 場 所	發 病 時 期	区 分	本 籍 地	現 住 所	職 務	階 級	名 氏	年 月 日 生	性 別
現地の人が埋 葬したか？	現地の人が埋 葬したか？	英軍遊撃隊及 カミカゼ隊の協 力により	ビルマ南東部 のロウラク州 モンビン	昭和二十年 四月十日	戦 死			内					現		女
<p>死亡直時の状況及び参考資料</p> <p>本名及姓 [] 軍曹に付し緬甸團ロウラク 州モンビン地区に於ける英印軍遊撃隊の謀略 及び探報活動の粉砕を目的として、英軍 の任務を命じ、その工作に従事し昭和二十年四 月十日、カミカゼ隊の村塔、山間部に潜伏せし英 印軍遊撃隊及びカミカゼ隊の協力により、カミ カゼ隊長(王様)の私兵から一斉射撃を受け、 [] 軍曹は生体不明となつたが、その後日本 軍に好意的であつた現地の人が死を現認した ことと聞かされたことを確認した。</p>															
<p>備考</p> <p>日本軍に好意的であつた 現地の人が死を現認し たことと聞かされた</p> <p>無関係の者と死亡死</p> <p>同部隊 分隊長</p> <p>所住現</p> <p>現</p> <p>氏名</p> <p>元</p>															



死 亡 報 告 書

第 〇 〇 〇 号

養 供 給 科 英 法 方 た つ 知 と 亡 死	死 亡 報 告 書							死 (在 留 地)		開 隊 時 の 住 所		姓 名		部 隊 又 は 艦 隊		所 屬 部 隊 又 は 艦 隊			
	遺 留 品 の 処 理 現 地 人 が 埋 葬 した。	遺 骨 及 び 遺 物 の 処 理	元 諸 亡 亡 場 所 英 印 軍 遊 撃 隊 及 び 此 他 の 協 力 クラウソン 一 州 長 (主 持) 私 兵 九 隊 並 び 交 付	亡 死 日 時	死 亡 区 分	猪 病 場 所	猪 病 時 期	本 籍 地	区 分	同	右	容	支 隊 長	兵 隊	死 亡 時 刻	年 月 日	年 月 日	年 月 日	氏 名
現 地 人 が 埋 葬 した。																			
保 關 の と 着 亡 死		現 地 人 が 埋 葬 した。		昭和二十年四月十日		戦 死		同		同		同		同		同		同	
所 在 現 所 住 現		現 地 人 が 埋 葬 した。		昭和二十年四月十日		戦 死		同		同		同		同		同		同	
所 屬 部 隊		現 地 人 が 埋 葬 した。		昭和二十年四月十日		戦 死		同		同		同		同		同		同	
所 屬 部 隊 氏 名		現 地 人 が 埋 葬 した。		昭和二十年四月十日		戦 死		同		同		同		同		同		同	
所 屬 部 隊 氏 名		現 地 人 が 埋 葬 した。		昭和二十年四月十日		戦 死		同		同		同		同		同		同	
所 屬 部 隊 氏 名		現 地 人 が 埋 葬 した。		昭和二十年四月十日		戦 死		同		同		同		同		同		同	
所 屬 部 隊 氏 名		現 地 人 が 埋 葬 した。		昭和二十年四月十日		戦 死		同		同		同		同		同		同	
所 屬 部 隊 氏 名		現 地 人 が 埋 葬 した。		昭和二十年四月十日		戦 死		同		同		同		同		同		同	
所 屬 部 隊 氏 名		現 地 人 が 埋 葬 した。		昭和二十年四月十日		戦 死		同		同		同		同		同		同	
所 屬 部 隊 氏 名		現 地 人 が 埋 葬 した。		昭和二十年四月十日		戦 死		同		同		同		同		同		同	

本 籍 地 区 分 同 内 容

死 亡 時 刻 年 月 日



死亡報書の記載事項証明

昭和二十年十月三十日

台湾総督府交通局総長

[Redacted]

殿

乗組員死亡認定、件報告

帆船台湾九号、乗組員九記、通り死亡セルニ付戸籍法
等百十九条、規定ニ依リ報告後

記

一、本籍

[Redacted]

二、氏名

[Redacted]

三、出生年月日

[Redacted]

四、戸主ノ氏名、戸主トシテノ続柄

[Redacted]

長男

役	昭和二十年二月
受付	第一七七号
種類	第四九号

五、船舶所有者船名

六、職名 船長

七、死亡年月日時 昭和二十年四月十五日十六時三十分

八、死亡の場所 東経三度二分三十分北緯三十三度三分四十六秒

九、死亡の事由 帆船台湾丸号乗組員トシテ船務口従事中前

記日時及現場所ニ於テ戰時災害ニ因リ行方不明ト為リタルヲ以テ爾

後極力搜索ニ努メタルモ今日ニ至ル迄発見スルニ至ラズ四圍ノ

状況ニ照ラシ萬生存ノ見込ナキモト認メ死亡セシキト認メ

右事項ハ [redacted] の死亡報告書ニ記載があるニトを証明す

昭和九年拾壹月廿六日

[redacted] 法務支局長

五二七

コクニ 242

死に確證

本居氏

現任所 右と同じ

昭和十九年八月

右の者 昭和十九年八月 北部求し 本才 行方不明に於て 第三十七

紀原 第六十二 砲隊司令 本部 せりり 本才 行方不明として 数回

敵陣上陸に當り 友軍の 砲隊 砲隊 砲隊 砲隊 砲隊 砲隊 砲隊 砲隊

ラサオに於て 砲隊 砲隊 砲隊 砲隊 砲隊 砲隊 砲隊 砲隊

昭和十九年九月六日

本居氏

本居氏

本居氏

本居氏

本居氏

本居氏

本居氏

狀況書

飛行第一百戰隊附 陸軍曹長

右者昭和貳拾年四月中旬沖繩本島附近制空任務ヲ
 以テ僚機十數機ト共ニ宮崎縣都城東飛行場ヲ出發
 制空任務終了歸還途中機關故障ノタメ喜界島
 ニ不時着セシガ曹長ノ操縦シアリシ四式戦闘機ハ
 破損シ使用ニ堪エザル結果トナリシヲ以テ單身基地
 出歸還ノ機會ヲ伺ヒアリシ處タマタマ四月二十七日薄暮
 喜界島飛行場ヨリ九州ニ歸還スル重爆撃機一所
 屬不明ナルヲ以テ同業ヲ許サレ離陸セシガ飛行場
 上空ヲ誰ル至近巨離ニ於テ敵戦闘機數機(當時列
 身線一機ノ制空權ノ欲例ニアリテ終日其ノ追殺ハ無シ)
 與テ激戦スルニ至リテ其ノ機體ニ損傷ヲ受ケテ墜
 落セルト見テトナリシノ事トモ見做ラレタリ

3-11

昭和二十一年十一月五日

第百一戰隊長 陸軍少佐

死七現認証明書

<p>姓名 [Redacted]</p>	<p>籍地 [Redacted]</p>	<p>年齢 [Redacted]</p>	<p>職業 [Redacted]</p>	<p>死亡原因 戦死</p>	<p>遺骨の処理 [Redacted]</p>	<p>前留品 [Redacted]</p>	<p>同一船に乘船沈没の際 現認した</p>
<p>住所 [Redacted]</p>	<p>都道府県 [Redacted]</p>	<p>内 [Redacted]</p>	<p>昭和27年4月29日</p>	<p>昭和27年4月29日</p>	<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>
<p>氏名 [Redacted]</p>	<p>種別 兵</p>	<p>階級 [Redacted]</p>	<p>所属 [Redacted]</p>	<p>戦死</p>	<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>
<p>身長 150</p>	<p>体重 [Redacted]</p>	<p>顔色 [Redacted]</p>	<p>髪色 [Redacted]</p>	<p>死状 [Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>
<p>氏名 [Redacted]</p>	<p>父 [Redacted]</p>	<p>続柄(父) [Redacted]</p>	<p>所居船名 [Redacted]</p>	<p>東亞丸に乗組み軍の物沈没を ついでに船中よりサイゴン向 け航行中敵の掃蕩を受け乗船 敵機の掃蕩を受け乗船 沈没の際戦死した</p>	<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>	<p>[Redacted]</p>

田 新田開墾者の記入欄中、記入の仕様がわづらひたらず、田名等の野原に「」の字が用ゐられてゐる。...



[Redacted]

和名 田 田名 新田開墾者 田名 新田開墾者 田名 新田開墾者

[Redacted]

田名 新田開墾者

田名 新田開墾者

[Redacted]

田名 新田開墾者

N.

書實證明書

元中二十四振武隊

陸軍航空少尉

本籍地

右之者昭和三十年五月四日午前十時頃沖繩海辺ニ於テ

戦死相違無キ事ヲ證明ス

昭和三十一年二月二十日

元中二十四振武隊

陸軍航空少尉

立花川

13-11

223

<p>并瑞亦德...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>
<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>
<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>

并瑞亦德...

...

户主

施弹破片

死 亡 証 明 書 陸・海・邦

資 料 提 出 住 者	死 亡 者																
死 亡 知 づ け た 方 法	遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	諸 元		亡 死		発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 員 名	通 有	称 固			
同 一 行 動 者			死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分									死 亡 分 類	死 亡 部 隊	細 部
死 亡 者 と の 關 係			* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	容	留 守 担 当 者	死 亡 時 刻 の 状 況 及 び 参 考 資 料	留 守 担 当 者 (姓 名)		氏 名	生 日 (年 月 日)	性 別	
戦 友			本人は昭和20年3月1日現役兵として前線にて国民学校に集合、発生した時オノノ大隊に入隊したも、イ。ある。先づ後英和志國民学校にイ。初年兵隊有らうけイ。後には陣地構築。おま。得業遂撤口。役中、昭和20年3月10日夕方陣業遂撤中、陣地の直裏にイ。戦死したも、イ。あり。										兵	役	氏 名	生 日 (年 月 日)	性 別
現 住 所			* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	容	留 守 担 当 者 (現 住 所)	留 守 担 当 者 (現 住 所)		氏 名	生 日 (年 月 日)	性 別		
所 属 部 隊 所 属 部 隊			* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	容	留 守 担 当 者 (現 住 所)	留 守 担 当 者 (現 住 所)		氏 名	生 日 (年 月 日)	性 別		
所 属 部 隊 所 属 部 隊			* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	* * *	容	留 守 担 当 者 (現 住 所)	留 守 担 当 者 (現 住 所)		氏 名	生 日 (年 月 日)	性 別		

本面に以上の注意を凝めておいて下さい。(表及び裏面の各欄は記載に及びません)

現認證書

南方

派邊

為五〇七

部隊朱戰

陸軍准尉

右者昭和二十二年五月二十一日新南群島上空於

敵戰鬥機、空中戦、殺り死（死病死）之ルコトヲ現認

昭和二十二年五月廿一日

現認者 元隊員 隊長

現任所

氏名

15-12

死亡確證證明書

一、死亡者所属部隊名 固有名才三五野戦航空修理隊

一、徵集年(任官年) 役種現兵補技昭和十六年徵集

一、死亡者不慮地

一、百等級(慶令年月日) 死亡前陸軍技上下兵(野令年月日昭20.5.1)死亡後陸軍

一、氏名 田年月日 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日

一、死亡年月日時 昭和20年五月二十四日 午 時 分 致死

一、死亡場所 北ホルネオ ベルラン 推定

一、死亡原因 (一) 傷病死に在りては傷病名及び受傷(行軍中土人の襲撃)

(二) 災害年月日及び被害の状況 (二) 遭遇せるもの、如し

右確證證明す

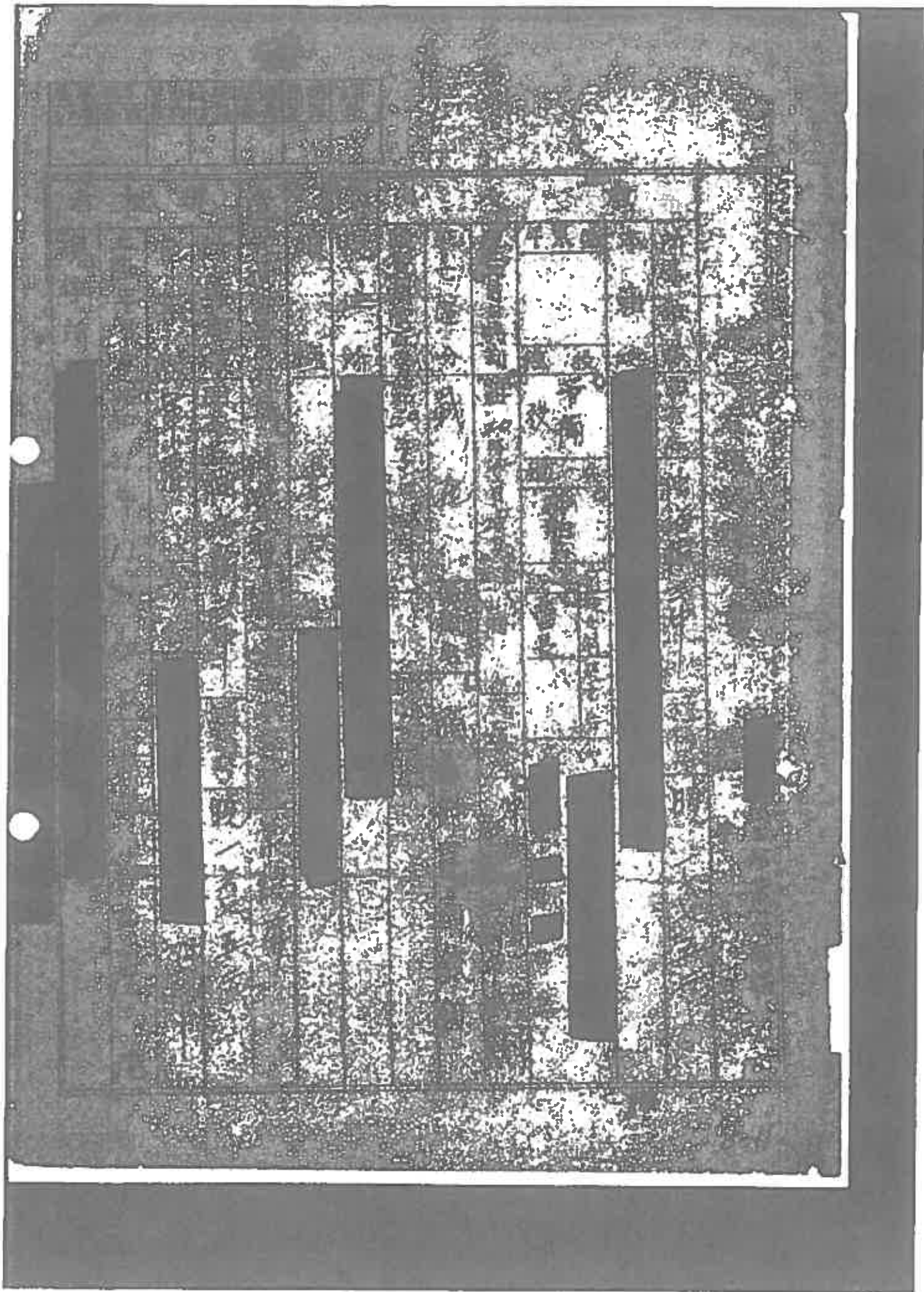
元隊員 [Redacted] 大尉

元隊員 [Redacted] 大尉

昭和20年2月10日 大尉 上級



14-11



2388



死亡者名簿 證明書

一、死亡者所属部隊名 固有名才三五野戦航空修理隊

一、徵集年(任官年) 役現 現 司一〇七四部隊

一、死亡者本籍地

一、百等級 (昭和年月日) 死亡前以技兵長(昭和年月日昭20.3.1)死亡後隨軍

一、氏名 三年月日

一、死亡年月日時刻死亡原因 昭和二〇年五月三十一日午

一、死亡場所 北ホルネオ 「シリ」 推定

一、死亡理由 (戦時中に在りては病名及び傷) 行軍中消息不明

一、遺骨遺留品の状況 ナシ

右確認證明す

元所属部隊名 司一〇七四部隊
現 住 所
元百等級氏名 技大尉
昭和年月日 昭和五年三月十日
大竹 上 印

13-12

2389